

留 学 報 告 書

記入日：2023年1月24日

留学先国	香港
留学先大学・学部 (和文及び英語)	(和) 香港城市大学 (英) City University of Hong Kong
留学期間	2022年8月~2022年12月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
帰国年月日	2022年12月28日
明治大学卒業予定年月	2024年3月

留学費用項目	現地通貨(HKD)	円	備考
授業料	0 HKD	0 円	学部間協定校留学のため、留学先の授業料はなし
宿舍費	11,000 HKD	182,996 円	
食費	7,000 HKD	116,452 円	四ヶ月分。外食も含まれます。
図書費	0 HKD	0 円	テキストを問わない授業しか履修していなかったのです。
学用品費	0 HKD	0 円	自分がすでに持っていたラップトップとiPadだけ使いました。
教養娯楽費	3,000 HKD	49,908 円	
被服費	800 HKD	13,309 円	
医療費	0 HKD	0 円	
保険費	120 HKD	1,996 円	香港城市大学の方が指定した保険です。明治大学指定の海外旅行保険は含めていません。
渡航旅費	7,946 HKD	132,189 円	往復チケット。前の留学先であるアメリカから香港へ行きましたので、あくまでも参考まで。
雑費	1000 HKD	16,636 円	
その他(電話通信料)	100 HKD	1,664 円	1ヶ月33HKDとなりました。60GBのデータがあります。
その他()	0 HKD	0 円	
その他()	0 HKD	0 円	
合計	30,966 HKD	515,150 円	

渡航関連	
渡航経路	ニューヨーク→香港→東京
渡航費用	チケットの種類 航空便のチケット
	往路 5, 250 HKD
	復路 2, 696 HKD
	合計 7, 946 HKD
渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。	
往路は香港の航空会社 Cathay Pacific を利用しました。ただし、香港に行く前に、アメリカで交換留学しており、アメリカから香港まで直接に行きました。この価格は参考までです。復路は HK Express を利用しました。実際のチケットは 2,000HKD ぐらいかかりましたが、500HKD で預入れ荷物の料金を事前に払いました。	
滞在形態関連	
種類（留学中の滞在先）例：アパート、大学の宿舎など	
大学の寮	
部屋の形態	<input type="checkbox"/> 個室 OR <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋（同居人数：2）
住居を探した方法	
交換プログラムに出願する場合、香港城市大学のオンラインシステムには寮を申し込むポータルがあります。	
感想（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）	
<p>部屋は狭かったのですが、シングルベッド・クロゼット・デスクがあります。寮はオン・キャンパスなので、キャンパスまで5分間歩いて着けます。駅まで10分ぐらい歩きます。</p> <p>そして、二人は一つの部屋に住んでいますが、バスやトイレは二つの部屋、すなわち四人で共用していました。香港城市大学の寮は、11個ホールがあり、他のホールに入れなかったのです。それで、友達は他のホールで住んだら、寮以外のところで遊んだり、話したりしかできないのです。</p> <p>それから、ルームメートを指名することが可能となります。一緒に留学に行く知人がいなくても、交換留学生の WhatsApp グループに入り、ルームメートを探して指名することをおすすめです。自分は大学に任せて、ルームメートとあまり話しないで4ヶ月間を過ごしました。少し大変だったと思います。</p>	
現地情報	
現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や附属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 利用する機会がなかった <input type="checkbox"/> 利用した；	
学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
留学先の学部事務室では、交換留学プログラムに参加する留学生に対するアドバイザーがいます。質問や不明点があったら、アドバイザーへ気軽に聞くことが可能となります。	
現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？	

香港は治安が良い都市ですので、危険地域などの情報はあまりありません。ただし、何か起きたら、地下鉄の広告欄で貼りますので、地下鉄に乗る時、広告欄などを注目したらいいと思います。

パソコン、携帯電話、インターネット（接続について）現地での利用はいかがでしたか？

キャンパス内のWi-Fi接続は良いだと思います。携帯電話については、コンビニでSoSIMというSIM CARDが買えます。1ヶ月分通信料は33HKD(500円ぐらい)となります。

現地での資金調達はどのように行いましたか？

自分は中国本土出身ですから、中国本土の銀行口座を持っています。親はその口座へ振り込んで、現地のATMで現金を下ろします。そして、日本のデビットカードでも、あるATMで現金を下ろせるようです。

現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

あまりないと思います。香港ではドンキやダイソーなどもありますので、日本の物が非常に手に入れやすいと思いました。

進路について

進路

就職 進学 未定 その他：

進路決定の際に参考にした資料、図書、期間など

就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。（内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません）

就職活動中・終了時に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書きください。

進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備、試験対策等）がありましたらお書きください。

その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書きください。

学習についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

留学先で取得した単位数合計（科目数）	本学で認定された単位数合計（科目数） ※該当項目にチェックのうえ、記入してください。
12単位（4科目）	<input checked="" type="checkbox"/> 10単位（4科目） <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません（理由： ）

履修した授業科目名（留学先大学言語）	Image of the city
履修した授業科目名（日本語）	都会のイメージ
科目設置学部	College of Liberal Arts and Social Sciences Linguistic and Translation Department
履修期間	Semester A

単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定
授業形態（チュートリアル，講義形式等）	講義形式
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教員	Lydia Catedral
授業内容	都会のイメージを切り口に、言語学と社会学のコンセプトなどを紹介してもらった授業です。そして、コミュニケーションや文化研究の内容も含まれます。
試験・課題など	毎回授業ではインクラスの小課題があり、Participation のポイントとして数えます。ミッドタームには、個人プロジェクトの Reflective Writing のレポートがあります。そして、クローズブックの期末試験とグループプロジェクトもあります。
感想を自由記入	自らの研究分野に近づく科目となったので、これから研究したい・より深く勉強したい分野に関する専門知識を学び、非常に役立てる科目であると思います。ただし、グループプロジェクトがあり、交換留学生として自分でグループを作ることが少し大変だったと思います。
履修した授業科目名（留学先大学言語）	Literature Across Time
履修した授業科目名（日本語）	時代を超えた文学
科目設置学部	College of Liberal Arts and Social Sciences English Department
履修期間	Semester A
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定
授業形態（チュートリアル，講義形式等）	講義形式
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教員	Klaudia Hiu Yen Lee
授業内容	時代を超えた英語文学の作品を読んで、鑑賞することでした。詩歌・短編小説から、『The Picture of Dorian Gray』や『Never Let Me Go』といった長編小説まで含まれます。
試験・課題など	ディスカッションは二つあり、インクラスのライティングクイズも一回ありました。そして、グループである作品に基づいてクリエイティブプロジェクトを書く課題もあります。期末課題は5ページぐらいの論文でした。
感想を自由記入	この授業は英語専攻の必修科目でした。そのため、自分は英語専攻ではない学生として、授業の内容が少し理解しにくく、難しかったと思います。そして、先生は少し厳しかったので、高い評価をもらうことが非常に難しかったと考えます。
履修した授業科目名（留学先大学言語）	Chinese Civilisation - History and Philosophy
履修した授業科目名（日本語）	中国の文明－歴史と哲学

科目設置学部	College of Liberal Arts and Social Sciences Chinese and History Department
履修期間	Semester A
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義形式
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教員	Calvin Hoi To Wong
授業内容	中国の文化と歴史の基礎知識に関する紹介。
試験・課題など	インクラスのクイズは4回ありましたが、点数の高かった3回を最後の成績に数えます。期末課題は個人の研究プロジェクトを5ページぐらいの論文で書くことでした。
感想を自由記入	中国文化と歴史の基礎に関する紹介であるが、中国文化について全般的な認識を得ることができます。期末課題としての個人研究プロジェクトは非常に重かった課題なので、できるだけ早くテーマを決め、先生と相談した方がいいと思います。先生は非常に優しくしたが、講義はディスカッションなどがなく、参加するきっかけもなく、少しつまらなかったと思います。そして、participation の評価基準も曖昧だったと思います。
履修した授業科目名（留学先大学言語）	Exploring Hong Kong
履修した授業科目名（日本語）	香港の紹介
科目設置学部	College of Liberal Arts and Social Sciences Chinese and History Department
履修期間	Semester A
単位数	3
本学での単位認定状況	3単位認定
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義形式
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教員	Calvin Hoi To Wong
授業内容	香港の歴史や文化などの紹介に基づいて、香港アイデンティティについて思考をおこなう。
試験・課題など	グループでテーマを決め、プレゼンテーションをした上で、一人ずつ千字ぐらいのレポートを書き、一本のレポートにまとめることが期末課題となります。そして、自分でフィールドワークを行い、報告を書く課題もあります。
感想を自由記入	後期の授業は全てプレゼンテーションとなりました。講義において、香港の文化産業と香港アイデンティティの形成の関係を議論することは新

	<p>たな視点を提供しましたが、授業の内容は薄くて欠けたと思いました。そして、Chinese Civilisationと同じ先生なので、講義がつまらないという問題点は共通だったと考えます。</p>
--	--

留学に関するタイムチャート

2021年 1月～3月	交換留学プログラムの情報を収集し、どこのプログラムに申し込むか決めました。その上、出願条件を確認した上で、準備を徐々に進めていきました。
4月～7月	英語力を鍛えました。
8月～9月	出願期間を確認し、出願書類の準備を始めました。
10月～12月	出願し、面接を受けました。
2022年 1月～3月	留学先を決め、留学の準備を進めていきました。
4月～7月	アメリカで一つ目の交換プログラムへ行き、香港へ移動しました。
8月～9月	香港での学期が始まりました。
10月～12月	留学先で勉強し、12月末に日本に戻りました。

留学体験記

留学しようと決めた理由	自分は異文化コミュニケーション専攻ですから、異なった文化背景の留学先で実際に勉強したり、現地の生活を経験したりしてみたいと思いました。それで、留学に行こうと決めました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	自分は英語力の向上に焦点を絞り、留学のために準備しました。香港の大学では、全ての授業は英語で行われていますが、日常生活には中国語、特に広東語が多用されます。基礎広東語、例えば、「こんにちは」や「ありがとうございます」といったことの言い方を知っているといいと考えます。
この留学先を選んだ理由	まず、香港の大学は全部英語で授業を行っていますので、他の言語を勉強する必要がないのです。そして、中国出身ですが、香港は出身地の中国本土とは異なりました。香港で交換留学すれば、自分の専攻分野である異文化コミュニケーションについてより深く理解できるのではないかと思い、香港という留学先を決めました。
大学・学生の雰囲気	授業はほぼ講義形式で行われたため、ディスカッションセッションなどがなく、地元の学生たちと話したり、知り合いになったりすることが難しかったと思います。そして、地元の学生は、香港の学生と中国本土の留学生、海外留学生という三つのグループで分けました。ただし、皆はやさしかったと思います。
寮の雰囲気	二人部屋に住み、他の一つの部屋とトイレとバスルームをシェアしました。人によって体験が違ってもいいかもしれません。自分自身の体験談でいえば、ルームメイトとバスルームメイトたちはやさしく、何かあったら一緒に解決しようとしてくれました。一方で、寮では活動が少なく、ルームメイトとバスルームメイトを除き、他の誰も知らないまま学期が終わりました。

交友関係	<p>交換留学生は自動的に一つのグループに属します。大学では、交換留学生同士と一緒に遊びに行ったり、図書館で勉強しており、新たにできた友達はほぼ全員交換留学生でした。そして、自分の留学先大学での交換留学生のみならず、香港の他の大学で交換留学している留学生たちとも仲良くなりました。</p>
学習内容・勉強について	<p>私は異文化コミュニケーションを専攻しており、文化研究に関する科目を履修しました。授業はグループワークが多かったですが、授業中のディスカッションがほぼなく、学生同士のコミュニケーションが少なかったと思います。学習内容は授業によって異なりましたが、非常に難しい授業と非常に理解しやすい授業しかなかったと思いました。</p>
課題・試験について	<p>ほとんどの科目はグループプロジェクトの課題がありました。ただし、グループメンバーたちのスケジュールが違いすぎ、グループミーティングを計画することが難しかったと思います。そして、交換留学生として、誰も知らない状態で、学期の初めにグループを作る必要がありました。相手の勉強力やこの科目で希望する成績について全く知らずにグループを作るのは少し大変だったと思います。そして、文化研究系の授業という、試験を行うことの代わりに、論文を期末課題とすることが一般的です。そのため、期末になったら、複数の論文や研究レポートを書くことも少し大変だったと考えます。</p>
大学外の活動について	<p>一般的に、友達と一緒に山でハイキングをしたり、海に行ったりして、都会部から逃げ、自然を満喫しました。そして、博物館や映画館に行き、コンサートにも行きました。</p>
ある平日のスケジュール	<p>9時半：起床 11時：ランチ 12時～15時：授業 15時～18時：図書館で勉強 18時半：夕食 19時半：自由時間 0時：就寝</p>
ある休日のスケジュール	<p>8時：起床と朝食 9時半：山に着き、ハイキングを始める 15時：大学へ帰り、シャワーして洗濯 17時：自由時間 0時：就寝</p>
留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」と思うこと	<p>香港に留学したい人は、基礎広東語、または基礎中国語を知っているといいと思います。そして、英語力は非常に重要なので、英語力の鍛えは不可欠だと思います。留学先には色々な国から来た交換留学生がいますので、オープンなマインドセットを持ち、異なった文化による考えを受け入れる方がいいと思います。</p>

香港の夜景



キャンパス内のレストラン



初登校日、大学の前で



クリスマスディナー



キャンプファイヤーと日の出

留学中にできた友人たちと

